



NSTリンクナースの役割 N5E病棟での栄養サポート



〔病棟の特徴〕

内科を主として41床の急性期病棟です。消化器疾患の内視鏡や治療（化学療法）が多い患者さん、血液疾患の患者さんが入院しています。

〔病棟目標〕

- 1) QOLを維持する展開ができる
- 2) 急性期病棟として管理指導を維持することができる
- 3) 看護師としてのやりがいの持てる職場をつくる



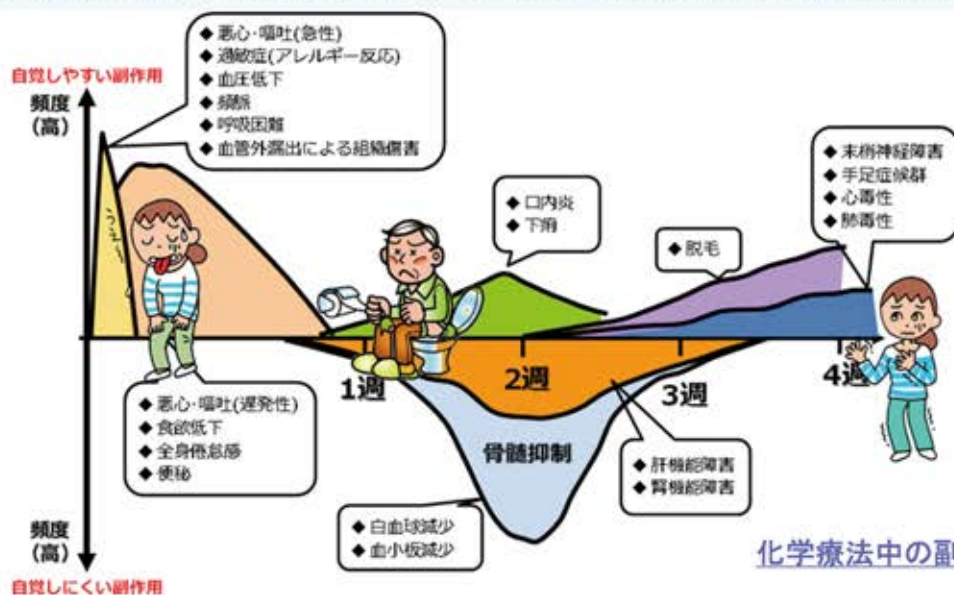
病棟目標として

栄養状態を維持する（栄養管理方法のシステム化）があります。

〔チーム活動内容〕

検温時、訪室時などに、食事量や食欲、嗜好など確認し、食事量の進まない患者さんには、N5E専従の管理栄養士と連携しアプローチしています。

特に、N5E病棟では、化学療法中の患者さんが多く入院しています。治療で用いる抗癌剤による嘔気・下痢・食欲不振・味覚異常などが、食事摂取量に影響し、栄養状態を悪化させることがあります。



低栄養になると、治療の継続や遂行が困難になるので、薬剤師さんが発行する**化学療法のスケジュール**を参考に、副作用の出現時期や症状などを想定し、のどごしのよい食品や消化のよい食品に変更するなど、**早期に栄養アプローチ**ができるよう心がけています。

また、血液疾患の患者さんには、治療中、免疫機能が低下するので、禁止食のなど指導を行っています。

NST活動では、N5E専従の管理栄養士と相談しながら、対象患者さんを選択しています。

NSTカンファでは多職種と連携しています。

N5E病棟 看護師 今尾 裕子